



①「皆さんからの声援や激励が力になりました」と話す西塔選手。②市役所での報告会では澤後援会副会長、田中市長が「お帰りなさい。感動をありがとう」と声をかけました。③レース中の西塔選手（ご家族提供）

### 西塔拓己選手 ロンドンオリンピック出場を報告

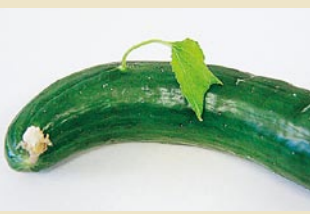
## 重みを感じた「ニッポン」のユニフォーム 4年後、8年後を目指してレベルアップを誓う

ジュニアの大会で日本代表のユニフォームは着たことがありましたが、シニアはやはり特別。そでを通すとずしりと重みを感じました。

レースでは、とにかくトップ集団についていって、粘れるだけ粘ろう。そう思っていました。が、いざスタートすると緊張してしまい、正直「どうしよう」と思いながら歩いていました。出場選手の多さや沿道からの大きな声援は初めての経験で、オリンピックはすごい舞台だということを感じました。

今大会の結果に関しては、普段どおりの力を出して自分のレースをやりきったとは言えず、悔しい気持ちが強いです。これから、来年の世界陸上や4年後、8年後のオリンピックを見据えてしっかりレベルアップをしていきたい。そこでの入賞、メダルという結果で、両親をはじめ激励の言葉をいただいた皆さんに恩返しをしたいです。

ロンドンオリンピック陸上男子20km競歩に、19歳の若さで出場した西塔拓己選手（東洋大2年・能美町高田出身）。8月16日(木)に市役所と母校の能美中学校を訪問しました。競技は現地時間8月4日午後5時(日本時間同5日午前1時)にスタート。足のけいれんなどアクシデントに見舞われながらも1時間22分43秒でゴールし、25位という結果を残しました。



ある日、住民の方から「珍しいキュウリがとれたんよ」とお電話が。お邪魔してみると、身から葉っぱがニョキニョキと生えているキュウリを発見！早速撮影させていただきました。

インターネットで調べてみると、花芽（生長すると花になる芽）が変異したもので、病気ではないようです。こういった現象はたまにあるみたいですが、実際に採れるとびっくりしてしまいますね。

### ほっこりひいき

### 今月の表紙

市観光協会の主催で行われた「夏休みちびっ子カヌー&寺子屋体験 えたじま」。市内外から30人の子どもが集まり、江田島の夏を満喫しました。写真はお寺で座禅を体験しているところです。（2～5ページに特集記事）

